

中津原处理分区

2 0 2 5 年 度

福山市御幸町地内

取 付 管 推 進 工 事 (流 関 7 - 2 1) 実 施 設 計 書

路線名: _____

工 事 概 要	当		初		
	工事延長	17.5	m		
	管渠工(推進)管径150mm	17.5	m		
	付帯工	1	式		

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局工務部管路整備課の発注する工事に適用する。

第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-（(公社)日本下水道協会）」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降40日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第4節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）

②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

2. 主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき

②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき

③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

第2章 施工

第1節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

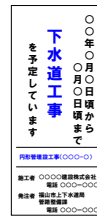
第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設設置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。

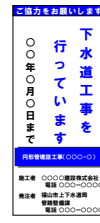


新しい路上工事看板（工事中看板）

- 何の工事を何の目的で実施しているかをわかりやすく示す「**工事内容**」を表
- 「**工事期間**」は、一目でわかるように、終了日のみを表示し、特図みや大き
- 工事内容を簡潔に説明した



（工事情報看板）



（工事説明看板）



第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行うこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休憩時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当日標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員日とは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Aを誘導日あたり1名以上配置すること。

第4節 管路及びマンホール

- 1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－1〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）の規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 3. 下水道用鑄鉄製マンホールふたは、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（高性能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鑄鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 5. 下水道用鑄鉄製防護ふたは、「福山市型鑄鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鑄鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
- 7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 現場管理

- 1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
- 3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
- 4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
- 5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

第6節 地下埋設物

- 1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
- 2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者へ提出すること。

第7節 環境対策

- 1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
- 2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
- 3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
- 4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
- 5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 工事用地

- 1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第9節 情報共有システムの利用

- 1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
- 2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム <http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyohoushisutemu2.html>
- 3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

第10節 週休2日適用工事

- 1. 週休2日適用工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする工事であり、本工事が発注者指定対象であるかは、施工条件表を参照すること。
- 2. 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
- 3. 「受注者希望型」とは、発注者が週休2日適用対象として発注者が指定した工事で、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

第3章 材料

第1節 埋戻材（処理土）

- 1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- 2. 1により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
- 3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固着材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
- 4. 工事完了時には、計量伝票等及び試験結果等を提出すること。
- 5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指数	800KN/㎡以上

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

- 1. 本工事に発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
- 2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第2節 建設汚泥

- 1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- 2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- 3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
- 4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- 1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- 2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- 3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
- 4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
建設発生土について、500m³以上（一時的積場については500m³/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時的積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m²以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
 - （1）補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

施 工 条 件 表

対象工事名 : 取付管推進工事（流関7-21）

項目	事 項	該 当		内 容					
① 計 画 準 備 関 係	施工計画書等の提出	●	あ り	○	な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。			
		●	あ り	○	な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。			
	変更図面の作成	●	あ り	○	な し	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。			
	取付ますの設置	○	あ り	●	な し	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。			
	誓約書の提出	●	あ り	○	な し	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。			
	協議	●	あ り	○	な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。			
						関係機関	事項	協議の内容	備考
						関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
						沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
その他						施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明		
段階確認	●	あ り	○	な し	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。				
情報共有システム	○	あ り	●	な し	設計金額 3，５００万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。				

項目	事 項	該 当		内 容					
② 工 程 関 係	工事期間	● あ り	○ な し	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし40日間を、検査期間は14日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。					
				<input checked="" type="checkbox"/> 準備期間	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事施工期間	<input type="checkbox"/> 建物等調査期間	<input checked="" type="checkbox"/> 変更協議期間	<input type="checkbox"/>	
				<input checked="" type="checkbox"/> 後片付け期間	<input checked="" type="checkbox"/> 検査期間	<input type="checkbox"/> 水道管移設期間	<input type="checkbox"/> ガス管移設期間	<input type="checkbox"/>	
	関連する別途工事	● あ り	○ な し	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。					
				関連工事の名称		発注者名		予定期間	備考
				森脇ポンプ場築造工事（土木工事）		福山市上下水道局		～2027年3月	
	制約条件	● あ り	○ な し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
				場所	制約の要因	制約の内容		備考	
				全体	円滑な交通の確保	施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。			
	○ あ り	● な し							
③ 用 地 関 係	借地	○ あ り	● な し	次のとおり、借地を見込んでいる。					
				場所	目的	面積	使用後の処置	備考	
	工事用地	○ あ り	● な し	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。					
				場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考	
		○ あ り	● な し						

項目	事 項	該 当		内 容							
④ 周 辺 環 境 保 全 関 係	建設公害の処置	● あ り	○ な し	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。							
				項目		処理方法			備考		
				建設機械（全般）		排ガス対策型の使用					
	建物等の調査	○ あ り	● な し	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。							
				調査内容		調査項目		数量		備考	
	井戸の調査及びその他の調査等	○ あ り	● な し	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。							
				調査内容		調査項目		数量		備考	
	六価クロム溶出試験の実施	○ あ り	● な し	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。							
				場所		工種		配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
		濁水・湧水の処理	● あ り	○ な し	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。						
			○ あ り	● な し							

項目	事 項	該 当		内 容				
⑤ 安全対策関係	近接施工	○ あ り	● な し	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。				
				場所	近接する施設	条件	備考	
	作業時間内の埋戻復旧	○ あ り	● な し	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。				
⑥ 埋戻関係	処理土	○ あ り	● な し	処理土の購入先は、建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。				
	流用土（現場内流用）	○ あ り	● な し					
	流用土（他工事流用）	○ あ り	● な し	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。				
				他工事名	搬入場所	搬入時期	備考	
	真砂土	○ あ り	● な し					
	品質管理	○ あ り	● な し	品質管理頻度	埋戻土量・試験回数	試験方法	(次のいずれか)	
					埋戻土量500m3につき1回 ただし、50m3未満の場合は 省略できる。		簡易貫入試験 (土研式円すい貫入試験)	市道 14回以上/10cm 県道 17回以上/10cm
現場密度試験							90%以上	(複数回の場合異なる層、位置で実施)

項目	事 項	該 当		内 容			
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	● あ り	○ な し	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。			
	建設汚泥（泥土）	○ あ り	● な し	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。			
				種別	搬出場所	運搬距離	備考
	建設汚泥（泥水）	● あ り	○ な し	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。			
				種別	搬出場所	運搬距離	備考
					福山市瀬戸町地頭分字虎537-2	仕様書のとおり	
	特定建設資材の廃棄物	● あ り	○ な し	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。			
				種別	搬出場所	運搬距離	備考
				コンクリート殻	福山市加茂町字北山992	仕様書のとおり	
	建設副産物情報交換システム	● あ り	○ な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。			
	広島県土砂の適正処理に関する条例	○ あ り	● な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。			
		○ あ り	● な し				
		○ あ り	● な し				

項目	事 項	該 当		内 容						
⑧ 仮設関係	土留	●	あり	○	なし	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。				
						場所	工法	土留種別	備考	
						立坑①	鋼製ケーシング式土留工	鋼製 t=12mm	ヒベング、ボイリングの恐れのない砂質、礫質、粘性土	
	仮設(土留)材料の残置	●	あり	○	なし	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。				
						場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
						立坑①	鋼製 t=12mm	計画地盤	1 基	
	路面覆工	●	あり	○	なし	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。				
						場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考
						立坑①	2.00 m	2.00 m	円形覆工板	
	覆工材料の残置	○	あり	●	なし	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。				
						場所	仕様	数量	付属部材	備考
	水替	○	あり	●	なし					
仮設電力設備	●	あり	○	なし	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。					
					場所	設備の種類			備考	
					推進工	<input checked="" type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電		
						<input type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電		
						<input type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電		
一般搬入道路	●	あり	○	なし	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
					搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考	
					全ての道路	工事期間	8時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合	
仮設道路	○	あり	●	なし	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
					期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考	

項目	事 項	該 当		内 容				
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	○ あ り	● な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。				
				場所	確認物件	方法	備考	
	本工事に含まれる移設工事	○ あ り	● な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。				
				場所	移設物件	移設の形態	設計見込金額（税抜）	
	工事支障物件	○ あ り	● な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。				
				場所	支障物件	内容	備考	
	○ あ り	● な し						
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	● あ り	○ な し	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。				
				場所	数量・区分等	工法	プラント	備考
				坑口部	仕様書の通り	二重管ストレーナー(複相)	車上	
	推進工法	● あ り	○ な し	次のとおり、推進工法を見込んでいる。				
				区間		工法	備考	
				No.1立坑 → No.0既設人孔	鋼製さや管推進工法（泥水式）			
	○ あ り	● な し						

項目	事 項	該 当		内 容
⑪ そ の 他	取付ますの請求額	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
	その他の図面	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（２０２３年４月１日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管の位置調査	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	工事の完了に伴い、「マンホール及び取付管の位置調査」の記載要領に基づき、マンホール及び取付管の位置を記入した図面を作成し、提出すること。
	工事完成のお知らせ	<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。
	週休2日適用工事 発注者指定	<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	「発注者指定型」 本工事は、週休2日対象工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。
		<input checked="" type="radio"/> あ り	<input type="radio"/> な し	「受注者希望型」 本工事は、週休2日対象工事です。詳細については、別紙（福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について）によるものとします。
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	
		<input type="radio"/> あ り	<input checked="" type="radio"/> な し	

福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施について

1 福山市上下水道局週休 2 日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。

(1)「週休 2 日」とは、次のアからイまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。

ア 「完全週休 2 日（土日）」とは、対象期間の全ての週（原則として、土曜日から金曜日までの 7 日間とする。以下同じ。）毎に現場閉所又は現場休息（以下「現場閉所等」という。）を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1 週間に 2 日以上現場閉所等を行うものをいう。

イ 「月単位の週休 2 日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4 週 8 休（現場閉所等の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上のものをいう。以下同じ。）以上であるものをいう。

(2)「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(3)「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業が無い状態をいう。

(4)「対象期間」とは、工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間（契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。）を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア 年末年始 6 日間及び夏季休暇 3 日間

イ 工場製作のみが行われている期間

ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(5)「発注者指定型」とは、週休 2 日適用工事として発注者が指定するものをいう。

(6)「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休 2 日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

2 週休 2 日は、次の各号に定めるところにより実施するものとする。

(1) 完全週休 2 日（土日）

1 (1) アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が 7 日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休 2 日

1 (1) イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では 4 週 8 休に満たない月又は日数が 28 日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実

施できるものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けられないものとする。なお、週休2日実施を希望しない受注者は、6～7に規定する義務を負わない。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - （1）品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - （2）その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事にあつては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあつては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費の補正は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - （1）発注者指定型
月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。
 - （2）受注者希望型
週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。
- 11 土木工事に係る経費の補正係数については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。
 - （1）完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03
 - （2）月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
-------	------

イ 共通仮設費 1.01

ウ 現場管理費 1.02

12 11(1)ア及び11(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工とする。

13 建築工事に係る経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

14 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

15 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及 び支管取付工	1.01	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位の 週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1) 土木工事

ご協力をお願いします	
週休 2 日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市上下水道局 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

(2) 建築工事

週休 2 日 適用工事

(A 3 サイズ以上)

(3) 共通

週休 2 日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休 2 日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市上下水道局〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A 3 サイズ以上)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	31 下水道工事 (2)		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T 補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(推進工法)(小口径推進)					Y1102 レベル1
管きょ工(小口径推進)	1	式			Y110201 レベル2
鋼製さや管泥水推進工	1	式			Y11020106 レベル3
推進用鋼管	1	式			Y1102010601 レベル4
推進工 鋼製さや管 呼び径 450mm 普通土		m			VD010101 00
推進機損料	15.5	m			単第0 -0001 表
	1	式			VD010102 00
先導体引抜工					単第0 -0004 表
	30.9	m			VD010104 00
先導体挿入工					単第0 -0005 表
	15.5	m			VD010105 00
					単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
推進用鋼管 呼び径 450mm L=1.2m/本	14.4	m			F0000000001 00
フード管 呼び径 450mm L=1.3m/個	1	個			F0000000023 00
挿入用塩ビ管		m			Y1102010603レベル4
塩ビ管挿入工 塩ビ管呼び径 150mm	16.2	m			SG1D0407001 00
接着受口片受け直管(ST) 呼び径150(165×5.1×4)	5	本			単第0 -0007 表 TH010440 00
接着受口カラー 150 WTB	8	個			F0000000025 00
スペーサー 450× 150 キャスター無	13	個			F0000000026 00
中込め		m3			Y1102010604レベル4
中込め注入工	2	m3			VD010301 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設備工(小口径)	1	式			Y11020113 レベル3
坑口(小口径)		箇所			Y1102011301 レベル4
坑口工	1	箇所			VC0201 00 単第0 -0011 表
鏡切り		箇所			Y1102011303 レベル4
鏡切り工	1	箇所			VC020205 00 単第0 -0014 表
推進設備等設置撤去		箇所			Y1102011304 レベル4
推進用機器据付撤去工 呼び径 450mm	1	箇所			VD020301 00 単第0 -0016 表
先導体据付工	2	台			VD020303 00 単第0 -0017 表
先導体搬出工	2	台			VD020304 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
先導体引抜準備工					VD020305 00
	2	回			単第0 -0019 表
中込め注入設備工					Y1102011306レベル4
		箇所			
中込め注入設備工					VC0204 00
	1	箇所			単第0 -0020 表
カッター交換					Y1102011306レベル4
		回			
カッター交換					VC0205 00
	1	回			単第0 -0021 表
障害物及び到達部削孔					Y1102011306レベル4
		式			
障害物及び到達部削孔					VC0206 00
	1	式			単第0 -0022 表
先導体整備工					Y1102011306レベル4
		式			
先導体整備工					VC0207 00
	1	式			単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート塊運搬処理		m3			Y1102040905レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	0.04	m3			SPK25040155 00 単第0 -0025 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co塊受入費 再資源化施設	0.04	m3			F0000000046 00
送・排泥設備工	1	式			Y11020114 レベル3
送・排泥設備(小口径泥水)		式			Y1102011401レベル4
送排泥管設置撤去工	1	式			VD030101 00 単第0 -0026 表
送泥ポンプ据付撤去工	1	台			VD030102 00 単第0 -0027 表
排泥ポンプ据付撤去工	1	台			VD030103 00 単第0 -0028 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計測機器類設置撤去工					VD030104 00
	1	箇所			単第0 -0029 表
ポンプ及び計測機器類機械器具損料					VD030105 00
	1	式			単第0 -0030 表
泥水処理設備工					Y11020115 レベル3
	1	式			
泥水処理設備(小口径泥水)					Y1102011501 レベル4
		式			
プラント据付撤去工					VD040101 00
	1	箇所			単第0 -0031 表
プラント設備付帯作業工					VD040102 00
	1	箇所			単第0 -0032 表
処理設備機械器具損料					VD040104 00
	1	式			単第0 -0033 表
作泥材					VD040105 00
	1	式			単第0 -0034 表
泥水運搬処理					Y1102011502 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
側溝清掃車運搬 運搬距離_7.0km超え14.0km以下	9	m3			S1030031 00 単第0 -0035 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
汚泥(泥水)受入費 再資源化施設 L= 10.1 km	9	m3			F0000000030 00
マンホール工	1	式			Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3
組立1号マンホール		箇所			Y1101020202レベル4
既設マンホール到達用可とう継手 VU 150	1	個			F0000000027 00
底部工 円形1号マンホール	1	箇所			VD5214 00 単第0 -0037 表
立坑工	1	式			Y110202 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工					Y11020201 レベル3
	1	式			
発生土処理					Y1102020103レベル4
		式			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離4.0km以下(2.5km超)	2	m3			SPK25040002 00 単第0 -0041 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離24.5km以下(14.5km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0042 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再資源化施設 L= 2.8 km	2	m3			F0000000039 00 砂質土等
発生土受入費 再資源化施設 L= 18.2 km	10	m3			F0000000024 00 粘性土
鋼製ケーシング式土留工及び土工	1	式			Y11020204 レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削		m			Y1102020401レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 砂質土	0.7	m			SG1D0602001 00 単第0 -0043 表
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 粘性土	3.6	m			SG1D0602001 00 単第0 -0046 表
ケーシング溶接工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0047 表
ケーシング引上げ工 呼び径 2,000mm 引上げ延長	1	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0049 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)	0.02	t			SPK25040411 00 単第0 -0051 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	0.02	t			SPK25040412 00 単第0 -0052 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ	0.02	t			F0000000045 00
底盤コンクリート		箇所			Y1102020402レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底盤コンクリート打設工					VG1D0603001 00
	3	m3			単第0 -0053 表
圧入掘削設備					Y1102020403レベル4
		箇所			
機械設置撤去工 呼び径 2,000mm					SG1D0604001 00
	1	回			単第0 -0054 表
鋼製ケーシング存置					Y1102020404レベル4
		m			
鋼製ケーシング 呼び径 2,000mm t=12mm					F0000000032 00
	3.6	m			
鋼製ケーシング刃先 呼び径 2,000mm 加工・接続費含					F0000000033 00
	1	個			
仮設ケーシング損料					Y1102020405レベル4
		式			
鋼製仮設ケーシング損料 呼び径 2,000mm					F0000000034 00
	1	箇所			
立坑排水					Y1102020406レベル4
		箇所			

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
うわ水排水工					SG1D0607001 00
	1	箇所			単第0 -0056 表
排水運搬処理					Y1102020407レベル4
		箇所			
スライム処理工					SG1D0608001 00
	1	箇所			単第0 -0057 表
側溝清掃車運搬 運搬距離_7.0km超え14.0km以下					S1030031 00
	1	m3			単第0 -0035 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
汚泥(泥水)受入費 再資源化施設 L= 10.1 km					F0000000030 00
	1	m3			
円形覆工板					Y1102020408レベル4
		箇所			
円形覆工板設置工 呼び径 2,000mm					SG1D0609001 00
	1	箇所			単第0 -0058 表
円形覆工板撤去工 呼び径 2,000mm					SG1D0609002 00
	1	箇所			単第0 -0060 表

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板整備費 呼び径 2,000mm	1	枚			F0000000035 00
円形覆工板賃料 呼び径 2,000mm 30日を超え90日以内使用	1.5	枚/月			F0000000037 00
地盤改良工	1	式			Y110203 レベル2
補助地盤改良工	1	式			Y11020301 レベル3
薬液注入		式			Y1102030101 レベル4
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式 (2セット) 総削孔長= 4 . 1 m	6	本			S0740 00 既設到達人孔側 単第0 -0061 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式 (2セット) 総削孔長= 3 . 9 m	6	本			S0740 00 発進立坑側 単第0 -0062 表
注入設備据付・解体工(車上)	1	現場			SG1D0039004 00 単第0 -0063 表
仮設工	1	式			Y110205 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y11020506 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1102050604 レベル4
		式			
交通誘導警備員B 1人/日					R0369 00
	2	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003 レベル4
	1	回			
重建設機械分解組立輸送 バックハウ系 山積1.0m3以上山積1.4m3以下					S1000017 00
	1	回			単第0 -0066 表

本工事費 内訳表

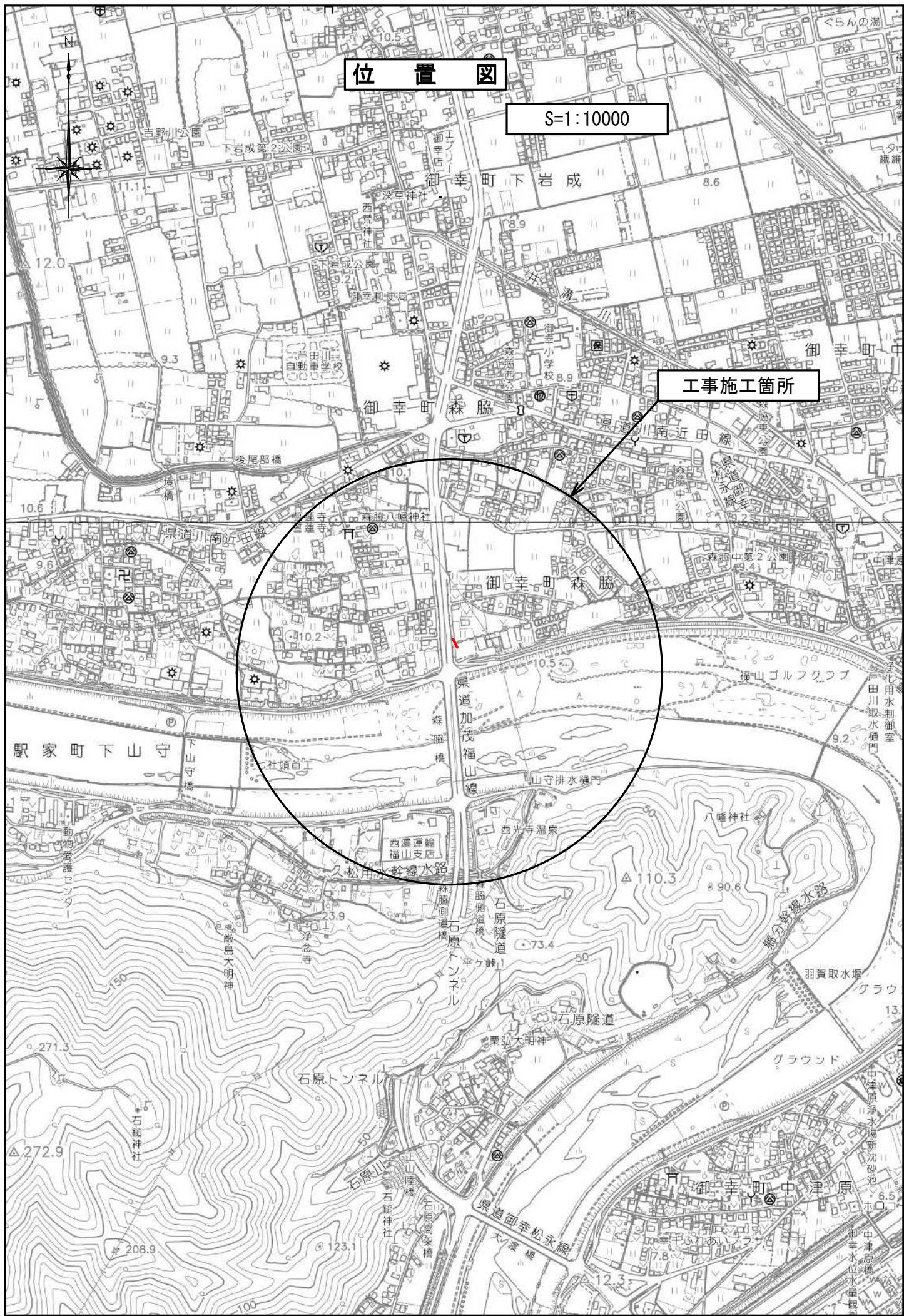
頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬費		t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0067 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報.....					
対象額.....					当初請対額
率.....					当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					



位置図

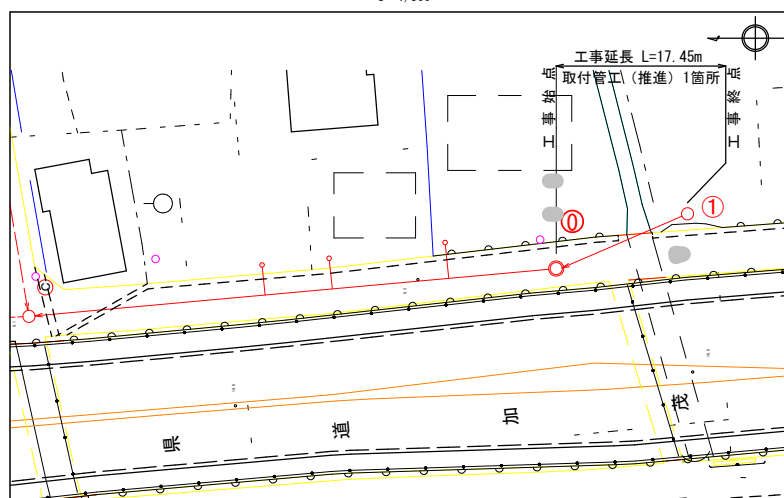
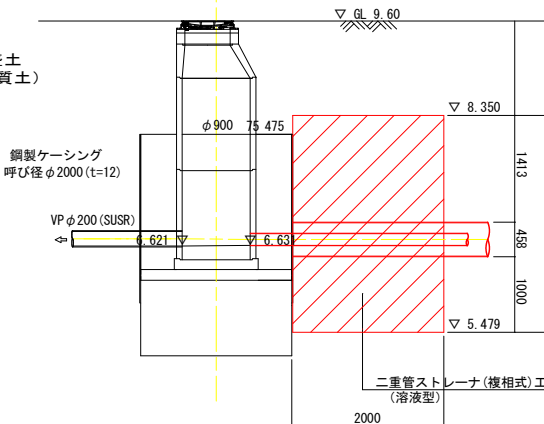
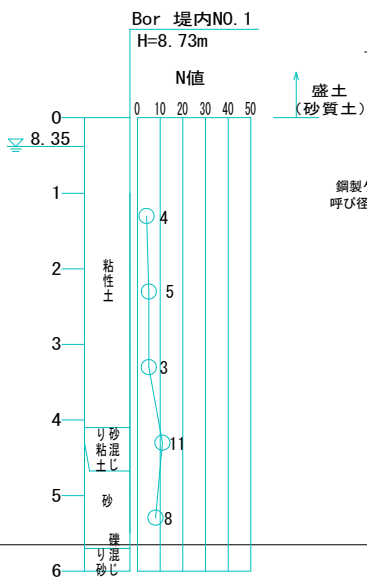
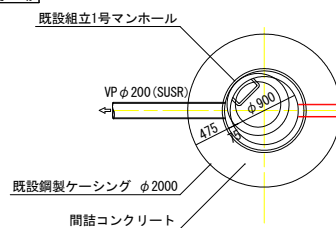
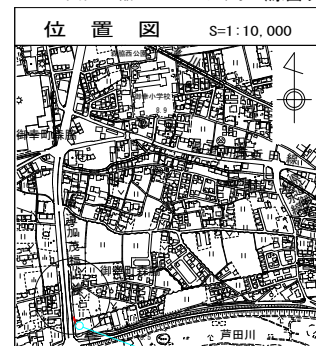
S=1:10000

工事施工箇所

福 山 市 上 下 水 道 局			
2025 年度 市単独 下水道事業			
工事名称	取 付 管 推 進 工 事		
工事場所	福山市 御幸町 地内		
図面番号	1 / 1	縮 尺	図 示
平面図・推進概要図・薬液注入工図 No.1 発進立坑構造図			

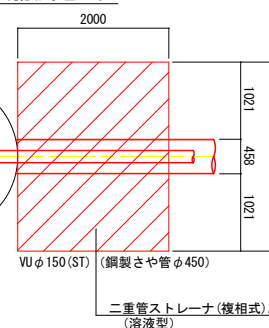
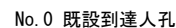
中津原处理分区

※この図面は縮小しています。(原図サイズ:A2)

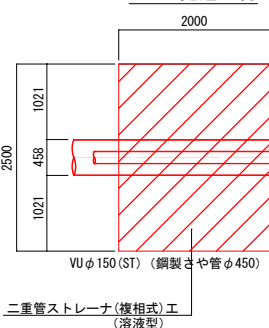


※取付桝設置及び発進立坑撤去は別途工事（森脇ポンプ場築造工事）

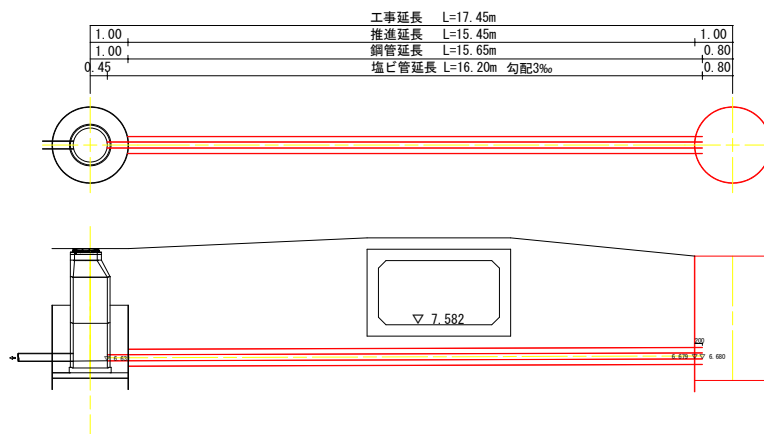
薬液注入工図



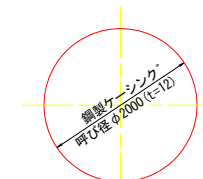
No. 1 発進立坑



推進概要図

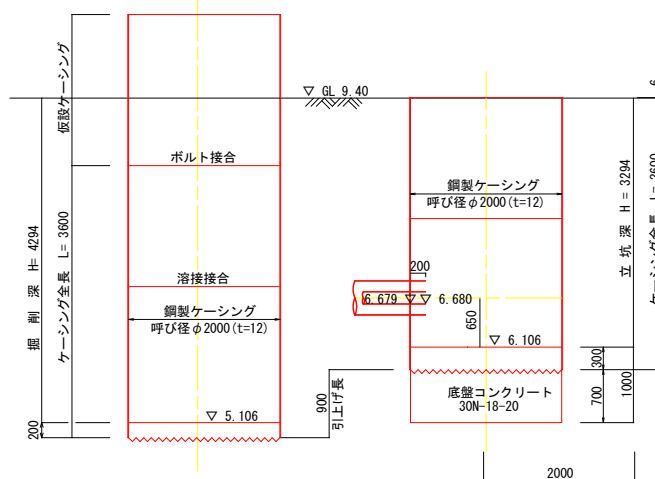
$$S=1/100$$


No. 1 発進立坑構造図

$$S=1/50$$


压入掘削完了図

引抜・底盤コンクリート完了図



※底盤Co計画高の検討

1) 管底高+1/2管内径-推進機高(650mm)
 $6.679+0.154/2-0.650=6.106$

参 考 图 书

施工単価表

推進工	VD010101	単第0 -0001 表	1	m	当り
鋼製さや管	呼び径 450mm 普通土				
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	3	人			
普通作業員	1	人			
溶接工	1	人			
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1	日			単第0-0002 表
トラック 8t	1.1	供用日			
機-16_発動発電機運転 ディーゼル75kVA 排出ガス対策型1次基準	1	日			単第0-0003 表
諸雑費	4	%			#09
1m当り					
* * * 単位当たり * * *	1	m			

施工単価表

頁0 -0002

機-18_トラック運転
021 クレーン装置付

SM1803020

單第0 -0002 表

ベーストラック4t級 吊能力2.9t

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

機-16_発動発電機運転
ディーゼル75kVA

S9469
排出ガス対策型1次基準

單第0 -0003 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0004

推進機損料

VD010102

單第0 -0004 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

先導體引拔工

VD010104

單第0 -0005 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0006

先導体挿入工

VD010105

單第0 -0006 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

塩ビ管挿入工
塩ビ管呼び径 150mm

SG1D0407001

単第0 -0007 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	1.0	人			
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1.0	日			単第0-0002 表
塩ビ管挿入工機械器具損料	1	日			単第0-0008 表
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量45kVA	1.0	日			単第0-0009 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/塩ビ管挿入標準日進量)					
* * * 単位当たり * * *	1	m			
A=1 塩ビ管呼び径 150mm					

施工単価表

頁0 -0008

塩ビ管挿入工機械器具損料

SG1E0407001

單第0 -0008 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転
定格容量45kVA

SM1600042

單第0 -0009 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

中込め注入工

VD010301

単第0 -0010 表

頁0 -0010

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
注入材料	5	m3			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量37～100L/min	1	日			
グラウトミキサ 並列2槽式 攪拌容量200L×2槽	1	日			
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量45kVA	1	日			単第0-0009 表
諸雑費	15	%			#09
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

頁0 -0011

坑口工

VC0201

單第0 -0011 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

鋼材溶接工

VG1E0098001

單第0 -0012 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

鋼材切断工

SG1E0098002

單第0 -0013 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

鏡切り工

VC020205

單第0 -0014 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

鏡切り工

SG1E0100001

單第0 -0015 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

推進用機器据付撤去工

VD020301

單第0 -0016 表

1

箇所 当り

呼び径 450mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

先導体据付工

VD020303

單第0 -0017 表

1 台 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

先導体搬出工

VD020304

單第0 -0018 表

1 台 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

先導体引抜準備工

VD020305

單第0 -0019 表

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

中込め注入設備工

VC0204

單第0 -0020 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

カッター交換

VC0205

單第0 -0021 表

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

障害物及び到達部削孔

VC0206

單第0 -0022 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

削孔工

VD020601

單第0 -0023 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

先導体整備工

VC0207

單第0 -0024 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

単第0 -0025 表
1
標準単価: 2,843.80000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

送排泥管設置撤去工

VD030101

単第0 -0026 表

頁0 -0026

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工 送泥管	1.5	人			
配管工 排泥管	1.5	人			
普通作業員 送泥管	1.5	人			
普通作業員 排泥管	1.5	人			
鋼管損料 送泥管	15.5	m			坑内
鋼管損料 送泥管	36.5	m			地上・立坑
鋼管損料 排泥管	15.5	m			坑内
鋼管損料 排泥管	36.5	m			地上・立坑
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0027

送泥ポンプ据付撤去工

VD030102

單第0 -0027 表

1

台 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

排泥ポンプ据付撤去工

VD030103

單第0 -0028 表

1

台 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

計測機器類設置撤去工

VD030104

單第0 -0029 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

ポンプ及び計測機器類機械器具損料

VD030105

単第0 -0030 表

頁0 -0030

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
送泥ポンプ 50 5.5kW	15.8	供用日			
排泥ポンプ 50 11.0kW	15.8	供用日			
排泥水流量測定装置 50	15.8	供用日			
立坑バイパス装置 50	15.8	供用日			
立坑バイパス装置 50	1	現場			
フレキシブルホース 50 5m×2	15.8	供用日			
フレキシブルホース 50 5m×2	1	現場			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0031

プラント据付撤去工

VD040101

單第0 -0031 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

プラント設備付帯作業工

VD040102

単第0 -0032 表

頁0 -0032

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
電工	2	人			
配管工	1	人			
溶接工	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	2	日			単第0-0002 表
諸雑費	1	%			#09
* * * 単位当たり * * *	1	箇所			

施工単価表

処理設備機械器具損料

VD040104

單第0 -0033 表

頁0 -0033

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

作泥材

VD040105

單第0 -0034 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

側溝清掃車運搬

S1030031

單第0 -0035 表

運搬距離 7.0km超え14.0km以下

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

機-19_側溝清掃車運転
ブロー式

S9000083

單第0 -0036 表

ホッパ容量9.0m³ 風量40m³/min

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

底部工
円形1号マンホール

VD5214

單第0 -0037 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0038 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 37.55% 材料構成比: 62.45% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 34,633.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	19.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	62.45%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=1 養生工無し J=1 -		

施工単価表

頁0 -0039

モルタル上塗り(マンホール用)

VG1E0044003

單第0 -0039 表

1

m2 当り

厚さ2cm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

モルタル練
高炉

SPK25040158

単第0 -0040 表

1 m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 82.04% 材料構成比: 17.96% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 102,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0041

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

SPK25040002

DID区間無し 距離4.0km以下(2.5km超)

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0041 表

1

標準単価:

m3 当り

1,400.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=18 距離4.0km以下(2.5km超)			B=4 クラムシェル平積0.4m3または平積0.8m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0042

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 3,676.20000

SPK25040002

DID区間有り 距離24.5km以下(14.5km超)

単第0 -0042 表

1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=55 距離24.5km以下(14.5km超)			B=4 クラムシェル平積0.4m3または平積0.8m3 D=2 DID区間有り		

施工単価表

圧入掘削積込み工

SG1D0602001

単第0 -0043 表

呼び径 2,000mm

砂質土

1

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.150	人			
特殊作業員	0.150	人			
普通作業員	0.300	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.9	時間			単第0-0044 表
機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.6m3)	0.474	時間			単第0-0045 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.150	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=3 呼び径 2,000mm E=31 【F】圧入機損料(時間)			B=3 適用範囲 N 30 D=1 揺動圧入機 F=3.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

頁0 -0044

機-01_圧入機運転

SM01G0001

單第0 -0044 表

揺動圧入機

呼び径 2,000mm

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転

SM0102040

单第0 -0045 表

061_油圧クラムシェル テレスコピック

バケット容量(平積0.6m³)

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

圧入掘削積込み工

SG1D0602001

単第0 -0046 表

呼び径 2,000mm 粘性土 1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.133	人			
特殊作業員	0.133	人			
普通作業員	0.267	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.8	時間			単第0-0044 表
機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.6m3)	0.421	時間			単第0-0045 表 0.8/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.133	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 粘性土 C=3 呼び径 2,000mm E=31 【F】圧入機損料(時間)			B=1 適用範囲 N 5 D=1 揺動圧入機 F=3.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

頁0 -0047

ケーシング溶接工
呼び径 2,000mm

SG1D0602002

單第0 -0047 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

ケーシング溶接工

SG1E0602001

單第0 -0048 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

ケーシング引上げ工

SG1D0602003

單第0 -0049 表

呼び径 2,000mm

引上げ延長

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

ケーシング引上げ工

SG1E0602002

単第0 -0050 表

呼び径 2,000mm 揺動圧入機 1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	5.0	時間			単第0-0044 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 2,000mm C=31 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=3.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)

単第0 -0051 表
1
t 当り
標準単価: 1,646.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=3 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し
クレーン装置付BT2t積2.9t吊

SPK25040412

単第0 -0052 表

1 t 当り
標準単価： 9,566.60000

機械構成比： 13.73% 労務構成比： 83.47% 材料構成比： 2.80% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.73%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	41.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊					

施工単価表

頁0 -0053

底盤コンクリート打設工

VG1D0603001

單第0 -0053 表

1

m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械設置撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0604001

単第0 -0054 表

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	1.4	時間			単第0-0055 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.17	日			
諸雑費	1	式			
* * * 単位当たり * * *	1	回			
A=3 呼び径 2,000mm C=31 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 揺動圧入機 D=3.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

頁0 -0055

機-01_圧入機運転

SM01G0001

單第0 -0055 表

揺動圧入機

呼び径 2,000mm

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

うわ水排水工

SG1D0607001

單第0 -0056 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

スライム処理工

SG1D0608001

單第0 -0057 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

円形覆工板設置工

SG1D0609001

單第0 -0058 表

1

箇所 当り

呼び径 2,000mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0059

トラック運転
021_クレーン装置付

SM0103020

單第0 -0059 表

1

時間 当り

ベーストラック4t級 吊能力2.9t

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

円形覆工板撤去工

SG1D0609002

單第0 -0060 表

1

箇所 当り

呼び径 2,000mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0061

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740

総削孔長=4 . 1 m

単第0 -0061 表

既設到達入孔側

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.098	人			1*0.0976
特殊作業員	0.293	人			3*0.0976
普通作業員	0.195	人			2*0.0976
土質安定注入剤	637.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.195	日			2*0.0976
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	0.195	日			2*0.0976
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=0.9 砂質土の削孔長(m) E=637 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=3.2 粘性土の削孔長(m) F=17.4 削孔時間 (T2)(分)		
G=1.3 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=38 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

頁0 -0062

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長= 3 . 9 m

発進立坑側

単第0 -0062 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.095	人			1*0.0945
特殊作業員	0.284	人			3*0.0945
普通作業員	0.189	人			2*0.0945
土質安定注入剤	625.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.189	日			2*0.0945
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	0.189	日			2*0.0945
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=0.7 砂質土の削孔長(m) E=625 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=3.2 粘性土の削孔長(m) F=16.2 削孔時間 (T2)(分)		
G=1.1 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=38 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

頁0 -0063

注入設備据付・解体工(車上)

SG1D0039004

単第0 -0063 表

1

現場 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.6	人			
普通作業員	3.7	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t	14.5	時間			単第0-0064 表
トラック 普通型 4～4.5t積	3.400	日			2*1.7 供用日の割増率
諸雑費	1	式			
トラック損料(注入時)	2.040	日			単第0-0065 表
* * * 単位当たり * * *	1	現場			
A=7.571 総注入量(kL) C=10 1日当り施工本数(本)			B=0.631 1本当り注入量(kL/本) D=1.7 供用日の割増率		

施工単価表

頁0 -0064

機-01_トラック(クレーン装置付)運転
ベーストラック4~4.5t積 吊能力2.9t

S9056

单第0 -0064 表

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0065

トラック損料(注入時)

SG1E0039001

單第0 -0065 表

1

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0066

重建設機械分解組立輸送 バックハウ系

S1000017

單第0 -0066 表

山積1.0m³以上山積1.4m³以下

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0067

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	S1000007
運搬距離 10km	製品長 12m以内

單第0 -0067 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0068

基本運賃

運搬距離 10km

S1000009

製品長 12m以内 運搬質量 3t

單第0 -0068 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0069

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

單第0 -0069 表

1

式 当り

[illegible]